2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月２日

上 場 会 社 名	小松マテーレ株式会社			上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3580			URL	https://www.komatsumatere.co.jp/
代　　表　　者	（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	中山　大輔	
問合せ先責任者	（役職名）	取締役経営企画室長	（氏名）	中村　重之	（TEL）0761-55-8000
半期報告書提出予定日		2026年11月12日	配当支払開始予定日		2026年11月30日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	19,787	△2.8	1,148	△15.1	1,711	1.1	1,234	550.5
2026年３月期中間期	20,354	6.5	1,353	16.4	1,693	10.4	189	△88.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,419百万円（　－%）　2026年３月期中間期　177百万円（△88.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	32.78	－
2026年３月期中間期	4.82	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	52,506	41,110	78.0	1,101.39
2026年３月期	51,942	39,889	76.5	1,042.52

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　40,957百万円　2026年３月期　39,747百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	14.00	－	13.00	27.00
2027年３月期	－	14.00			
2027年３月期(予想)			－	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	2.3	2,600	3.9	3,500	9.1	2,600	73.2	68.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規１社　（社名）株式会社ユニフ

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	39,240,999株	2026年３月期	39,240,999株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,054,318株	2026年３月期	1,114,855株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	37,646,663株	2026年３月期中間期	39,331,046株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業業績の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、緊迫する中東情勢の長期化や、原燃料価格及び物価の上昇により、企業活動の調達・生産コストが押し上げられ、消費者の節約志向は根強く、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

上記の経済状況において、当社グループは、国内では衣料・資材の両分野で販売活動に注力し、海外においては欧米・アジアを中心に販路の拡大に取り組んでまいりました。こうした中、上期は従業員のワークライフバランスを重視し、猛暑対策として労働負荷を軽減し労働環境を改善していくために夏季の操業日数を計画的に縮減したことで、生産数量が前年同期を下回り、売上高は減収となりました。また、操業日の縮減に加え、システム及び生産設備への今後の成長に向けた先行投資に伴う減価償却費等の負担が増加したことにより減益となりました。これに対し、当社グループは収益基盤の強化・向上を図るため、得意な領域において競争優位性を一層高める方針のもと、高付加価値商品の開発及び拡販並びに適切な価格転嫁に努め、さらには、省エネルギー化や生産性の向上によるコスト削減に取り組んでおります。

また、当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画「KFW-2026」の達成に向け、2024年より具体的施策を実行しております。事業戦略の面では、当社の炭素繊維撚り線「CABKOMA(カボコーマ)」を用いた耐震補強工法が建築技術性能証明を取得し、老朽化した工場や倉庫の耐震化という新たな市場に向けた事業展開の基盤を整えました。

なお、製品事業の拡大に向けて、企業・学校向けユニフォームの企画・製造・販売を手掛ける株式会社ユニフを子会社化し、当社の素材力と同社の顧客基盤を融合させることで、今後ユニフォーム市場における競争力の強化を図ってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は197億87百万円（前年同中間期比2.8％減）となり、営業利益は11億48百万円（同15.1％減）、経常利益は17億11百万円（同1.1％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は12億34百万円（同550.5％増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

（繊維事業）

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応えられる高付加価値商品や環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当中間連結会計期間では、北米ファッションが好調であったものの、中東民族衣装や国内ファッション及びスポーツ向けが苦戦し、当部門全体として減収となりました。

資材ファブリック部門については、生活関連資材及び車輌分野が苦戦したことにより、当部門全体として減収となりました。

製品部門におきましては、部門全体として堅調に推移いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当事業の売上高は195億52百万円となりました。

（その他の事業）

物流分野の当中間連結会計期間の売上高は２億35百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、525億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億64百万円増加しました。これは主に現金及び預金が17億円、売掛金が11億94百万円減少したものの、投資有価証券が31億78百万円、商品及び製品が４億32百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、113億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億56百万円減少しました。これは主に賞与引当金が１億４百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が４億38百万円、未払法人税等が４億２百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、411億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億20百万円増加しました。これは主に自己株式が６億92百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が11億76百万円、利益剰余金が７億28百万円増加したことによるものであります。

②当期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ17億円減少し、75億33百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は19億92百万円（前年同期は５億１百万円の資金の増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益16億74百万円、売上債権の減少額10億32百万円、減価償却費９億24百万円、支出の主な内訳は、法人税等の支払額７億16百万円、仕入債務の減少額４億75百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は23億97百万円（前年同期は14億12百万円の資金の減少）となりました。収入の主な内訳は、有価証券の償還による収入７億円、定期預金の払戻による収入３億円、支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出14億90百万円、投資有価証券の取得による支出10億84百万円、短期貸付けによる支出５億50百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は13億９百万円（前年同期は13億37百万円の資金の減少）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出７億44百万円、配当金の支払額４億95百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び剰余金の配当（中間配当の増配）の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,233	7,533
受取手形	1,354	1,563
売掛金	6,676	5,482
有価証券	1,292	598
商品及び製品	1,700	2,132
仕掛品	960	963
原材料及び貯蔵品	2,128	2,160
その他	305	218
貸倒引当金	△10	△16
流動資産合計	23,643	20,636
固定資産		
有形固定資産	9,565	9,806
無形固定資産	2,399	2,791
投資その他の資産		
投資有価証券	15,403	18,581
繰延税金資産	677	343
その他	410	452
貸倒引当金	△156	△105
投資その他の資産合計	16,334	19,272
固定資産合計	28,299	31,870
資産合計	51,942	52,506

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,792	4,353
未払法人税等	769	366
契約負債	65	90
賞与引当金	817	922
その他	2,049	1,850
流動負債合計	8,494	7,583
固定負債		
退職給付に係る負債	3,177	3,246
その他	380	565
固定負債合計	3,558	3,812
負債合計	12,052	11,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	28,319	29,047
自己株式	△949	△1,642
株主資本合計	36,660	36,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,739	3,916
為替換算調整勘定	104	126
退職給付に係る調整累計額	242	217
その他の包括利益累計額合計	3,086	4,260
非支配株主持分	142	153
純資産合計	39,889	41,110
負債純資産合計	51,942	52,506

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	20,354	19,787
売上原価	15,804	15,039
売上総利益	4,549	4,748
販売費及び一般管理費	3,195	3,599
営業利益	1,353	1,148
営業外収益		
受取配当金	91	97
持分法による投資利益	167	390
その他	98	84
営業外収益合計	357	572
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	10	2
為替予約評価損	1	2
その他	2	2
営業外費用合計	18	9
経常利益	1,693	1,711
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	321	－
特別利益合計	322	0
特別損失		
固定資産売却損	－	1
固定資産除却損	35	27
投資有価証券評価損	1,232	－
災害損失	0	8
特別損失合計	1,268	37
税金等調整前中間純利益	746	1,674
法人税、住民税及び事業税	628	341
法人税等調整額	△71	87
法人税等合計	557	429
中間純利益	189	1,245
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	11
親会社株主に帰属する中間純利益	189	1,234

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	189	1,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	1,171
為替換算調整勘定	△20	22
退職給付に係る調整額	△2	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	5
その他の包括利益合計	△11	1,173
中間包括利益	177	2,419
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	178	2,408
非支配株主に係る中間包括利益	△0	11

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	746	1,674
減価償却費	686	924
のれん償却額	30	30
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	66	32
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4	△52
持分法による投資損益（△は益）	△167	△390
受取利息及び受取配当金	△122	△124
支払利息	3	2
固定資産除売却損益（△は益）	35	28
投資有価証券売却損益（△は益）	△321	－
投資有価証券評価損益（△は益）	1,232	－
売上債権の増減額（△は増加）	244	1,032
棚卸資産の増減額（△は増加）	△166	△259
仕入債務の増減額（△は減少）	△918	△475
その他	△367	160
小計	977	2,582
利息及び配当金の受取額	123	126
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△595	△716
法人税等の還付額	－	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	501	1,992
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△300
定期預金の払戻による収入	－	300
有価証券の取得による支出	△3,000	－
有価証券の償還による収入	3,000	700
投資有価証券の取得による支出	△506	△1,084
投資有価証券の売却及び償還による収入	471	－
固定資産の取得による支出	△1,147	△1,490
固定資産の売却による収入	0	39
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	12
短期貸付けによる支出	－	△550
その他	△30	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,412	△2,397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△516	△495
自己株式の取得による支出	△477	△744
その他	△343	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,337	△1,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,257	△1,700
現金及び現金同等物の期首残高	9,430	9,233
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,172	7,533

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,107	246	20,354	―	20,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	999	1,015	△1,015	―
計	20,124	1,245	21,369	△1,015	20,354
セグメント利益	1,313	34	1,348	5	1,353

（注）１　セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。
　　２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,552	235	19,787	―	19,787
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	986	1,000	△1,000	―
計	19,565	1,222	20,788	△1,000	19,787
セグメント利益	1,125	17	1,142	6	1,148

（注）１　セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。
　　２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。